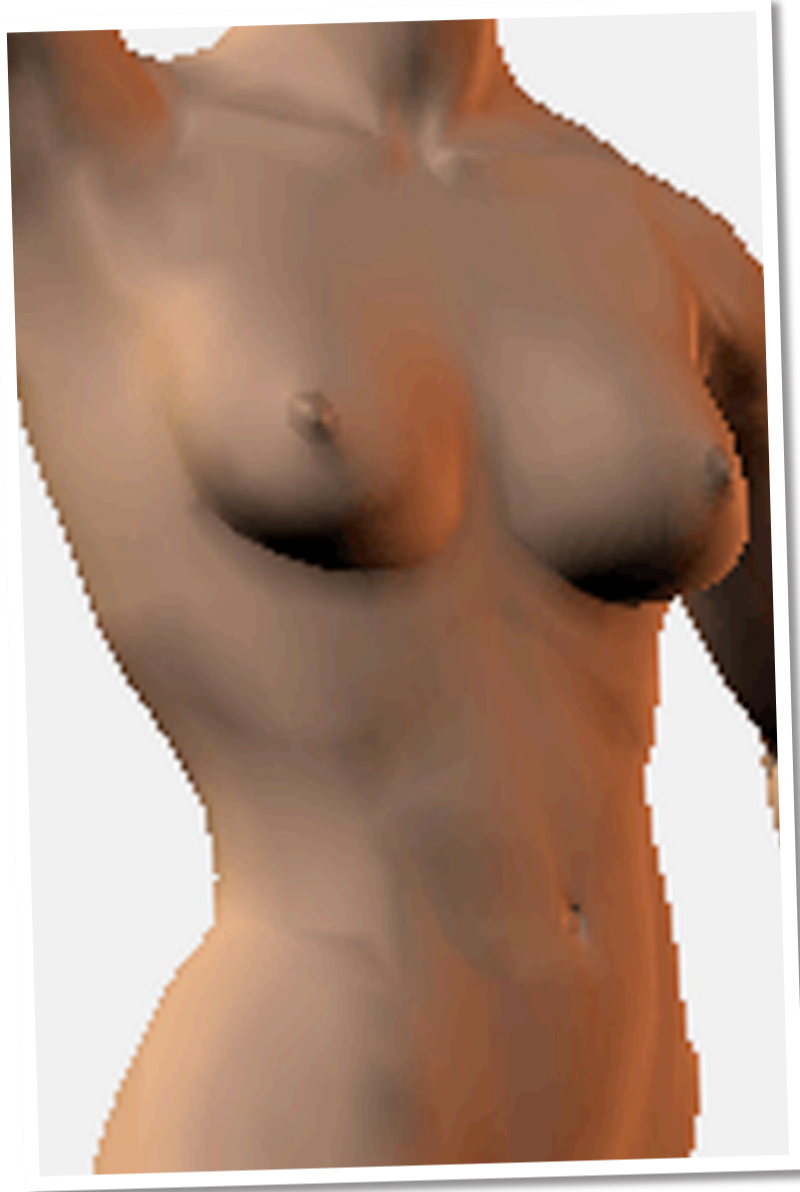


乳房

乳房再建

乳がんを切除した後の乳房再建は「こころの再建」とも言われます。乳房を失うことによる精神的損失を取り戻す治療です。2006年からは乳房再建術が正式に保険点数として収載されたことで、より一般的に行われる治療になってきました。乳腺外科医と形成外科医が協力して治療する施設はまだ少ないのが現状ですが、当院では乳腺外科医と密接な連携のもと、整容的な乳房再建術を行っています。

色々な方法がありますが、患者さんの希望を第一に、再建部位の皮膚と筋肉の状態、対側乳房の大きさ・下がり具合、妊娠希望の有無、組織採取部位の状態などからアドバイスをして選択しています。



時期

a. 一次再建

乳がん切除と乳房再建を同時に行うものです。したがって、乳房のない自分を見ることなく、麻酔から覚めたときにはすでに再建された乳房があることとなります。二次再建と比べると手術が1回少なくなるので経済的であることも利点です。

b. 二次再建

手術後の補助療法(化学療法・放射線療法・ホルモン療法)終了後、もしくは過去に乳房切除を受けて欠損がある方に乳房再建を行うものです。腫瘍治療の影響を受けにくく、再建について、十分に考える時間があるのが利点です。エキスパンダーの治療を組み合わせた遊離腹部皮弁による再建を行えば、乳房の皮膚を残した自然な乳房の再建が可能になります。



方法

a. 人工物

からだの他の部位に傷が増えないのが最大の利点です。

一方、再建できる形態はシリコンインプラントによって規定されるため、下垂した乳房の再建は難しいことがあります。対称性を得るために反対側の乳房に追加手術(乳房固定術・縮小術、豊胸術)を要することもあります。短期的には感染・露出のリスクがあり、長期的に見ると被膜拘縮、破損などの問題が起こることがありますので1年ごとの検診が必要になります。破損率が10年で14%と報告されており、検診の結果次第で入れ替えが必要になることがあります。

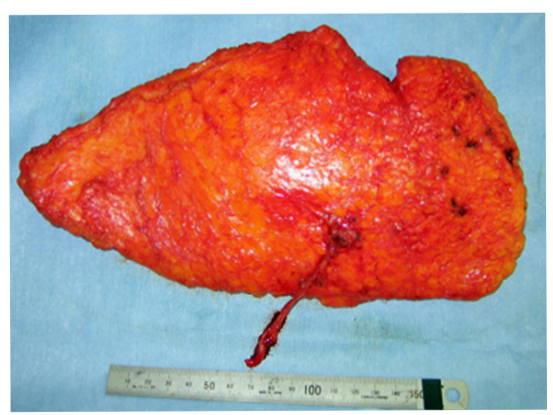
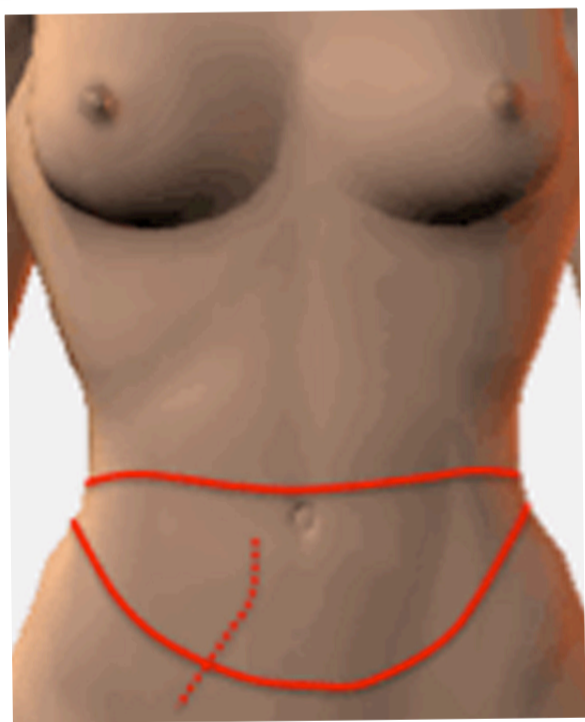
初回手術ではエキスパンダーを挿入し、4-6ヶ月後にシリコンインプラント(コヒーシブジェルインプラント)に入れ替えます。初回手術は全身麻酔で行い、1週間程度の入院が必要です(保険診療)。入れ替えは局所麻酔もしくは全身麻酔下に行い、4日間程度の入院が必要です(自費診療)。



expander



cohesive implant



DIEP flap

b. 自家組織

体への負担は大きくなりますが、より自然な形態が再建でき、硬さは人工物に比べて軟らかく(自然な乳房の硬さに近く)、メンテナンスフリーであることが最大の利点です。手術は全身麻酔下に行い1-2週間の入院が必要です。費用は保険診療です。当院では2つの選択肢をお示ししています。

b-1 遊離腹部皮弁

(初回手術はエキスパンダーの挿入術を行い、二次手術で受けることをオススメしております)

おなかの脂肪に血管をつけた状態で移植します。遊離下腹壁動脈穿通枝皮弁 free DIEP flapという穿通枝皮弁の一つです。筋肉を極力傷つけずに機能損失を少なくしています。大きな乳房も再建することができ、お腹もすっきりする方法で、現状で最も優れた再建方法と言えます。2mmくらいの血管

を顕微鏡下に繋ぐ繊細な方法のため、手術前にCT検査を行い血管評価を行います。

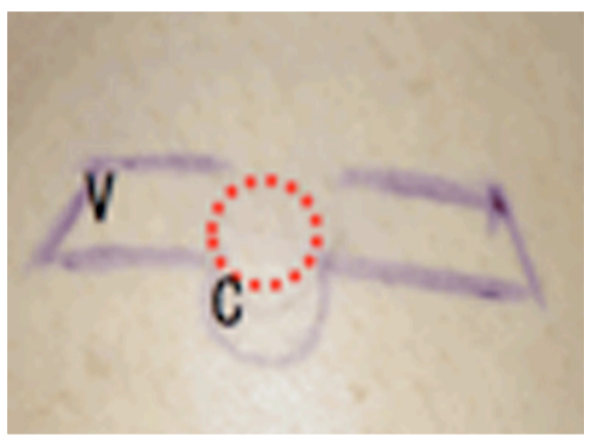
b-2広背筋皮弁

背中中の筋肉や脂肪を利用する方法です。

二の腕から腰の方へ広がる広背筋・周囲の皮下脂肪・皮膚とを血管がつながった状態ではがして胸部に移動させます。腹部に比べると、付加できる皮膚・脂肪の量に制限があるため小さな乳房の方に適した再建法です。



広背筋皮弁



C-V flap

乳頭乳輪再建

乳頭乳輪を切除した場合は乳房再建後3-6 ヶ月してから再建します。局所皮弁(皮膚をやりくりする方法)、対側乳頭からの移植で乳頭を再建し、刺青や対側乳輪からの移植で乳輪を再建します。入れ墨以外は保険診療となります。

費用

乳房切除+自家組織	入院7 - 14日	30 - 40万円(3割負担)
乳房切除+Expander	入院5 - 10日	30 - 40万円(3割負担)
インプラント入れ替え	入院4日	30 - 40万円(自費)
乳頭再建	外来	3万円(3割負担)
乳頭・乳輪入れ墨	外来	5万円(自費)